

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	・利用者さんによっては狭いと思う日もあるが、ウッドデッキ、庭、飛驒の里etc.の利用で補っていると思う
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	・子ども一人に対して基本はスタッフが二人以上にならないように気を付けている 職員配置には注意をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	・段差はないように配慮をしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	・支援をしていて子どもたちの目標が達成されていると思ったら次のステップへいけるように新しい目標を考えるようにしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	・アンケートの結果を見て、保護者の素直な思いに応えられるように、改善しなければいけない所は改善できるようにスタッフ間で話し合いをして策を練っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	・自己評価の結果は、事業所の会報やホームページで公開されており、それで確認して業務改善に努めている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	・保護者方からの意見での業務改善。また施設を訪れた方からの業務改善提案を大切に、反映できるように努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	・月1回の定期的な社員研修での学びを大切にしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	・アセスメントを適切に行っており、利用者と保護者の求めていることを個別支援計画に入れられるように作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	・決められたアセスメントツールが使用されており、利用者の状況を理解することができる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	・活動プログラムはその日のうちに昼礼で利用者の活動を提供できるように環境の設定や打ち合わせをしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	・毎日同じような活動をしている利用者には、固定化しないように別の活動を促せるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	・それぞれの利用日によって、イベントがある月は、目標があり、課題も出てくるので、その課題が解決できるように朝礼で打ち合わせをしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	・利用者によって、集団活動が苦手な子もいるので、そうした子には、無理に集団活動を押し付けないように、個別活動ができる場を確立し、利用者が活動しやすい環境を作れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	・打ち合わせで、今月の利用者の特徴から考えられる危険を予測して、誰がどの子にどんな接し方をしていくかを毎日の打ち合わせで行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	・振り返りを翌日にしているが、できればその日の内にその日の職員同士で情報共有したい。 夕方の職員の仕事の分担等について話し合ったばかりなので、もし余裕がある時は当日の職員で情報共有しながら振り返りながら正しい記録に心がけたい。 ・早急に話し合いたいことは、その日に練るようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	・記録に偽りのことは書かないように実際に起きた事象だけをかくようにしている。 ・誠実な記録作りに徹している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	・定期的にモニタリングを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7	0	・ガイドラインの総則の基本活動をいろいろと組み合わせ合わせて支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、最もふさわしい人が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	・送迎のミスが生じて、学校と連携して話を進め保護者にもその旨を話をして、改善に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	7	・医療的ケア児は受け入れていない ・医療的ケアが必要な子が現在いない ・現在は受け入れがない ・医療的ケアを要する子どもは今のところ利用していない。 ・現在受け入れの子がいない ・利用者の通院している医療機関の主治医にはすぐに連絡がとれるように個人ファイルに記載がされている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	・就学前に利用していた施設との情報共有がされており、相互理解が、できるような体制をとっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	・学校を卒業して、放デイから障害福祉サービス事業所へ移行をする場合は、それまでの支援内容等の情報共有をおこなっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	・重度行動障害やきほんの「き」研修などの研修を受けた。他にも研修を受講する予定。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	7	・利用者は障害者と言ってもグレーゾーンの子が多く障害の思い方との交流をしていくことも必要だと感じる。そうした交流イベントは既に計画に至る。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	7	・現在は参加していないが、いずれは参加を考えていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	・日頃から、お迎えの際にその日の活動状況をお伝えして、発達の状況や課題の共通理解が出来るようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	7	・とりたててペアトレを計画はしていないが管理者、児発管が個別に支援していると承知している。 ・親さんの困りごとに対して良い助言ができるように専門知識も高めていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	・担当スタッフがおり、それぞれの項目の説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	・利用者の問題行動をなくしていけるように、スタッフ間で話し合いをして支援において実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	・茶和会を実施できた ・開催はしたが参加者が少なかった ・ステキナイトのイベントで父母同志の交流ができた
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	・苦情がないように、保護者の立場にたつ考え方が出来るようにしている。 ・丁寧な対応をスタッフ間で周知し行っている。 ・苦情対応に限らず迅速な対応を心がけている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	・前の月には、必ずイベントカレンダーなどを通じて行事予定を送っている。 ・隔月で、通信を発行している。通信に連絡も記載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	・郵便物(配布物)など三重チェック ・個人名の書いた用紙を破棄する際も注意をはらい ・持ち運びにも最善の注意をはらっている。 ・個人記録には、施錠も心がけている。 また、ダブルチェックも徹底し、事業所外への個人情報の流失を防ぎ個人の写真の扱いにも注意を徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	・言いつ、伝え方には相手が嫌な思いにならないようにいつも気をつけている。 保護者の方に敬意をはらう気持ちを忘れない。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	・地域の施設等へイベントで行ったりしているメダカの販売などの交流の場にも行っている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	・契約時に説明を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	・年に3回確実に避難訓練をおこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	・虐待防止委員会を中心に虐待防止の研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	・該当する利用者はいない ・施設に施錠していないし、身体拘束しなければならない状況は今のところない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	・医師の指示書はないが保護者からの申し出に基づいて対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	・ひやりはっとの確認は毎日行うようにしている。